

令和6年度神戸市各会計予算及び関連議案に対する

各会派の意見表明

[自由民主党]

自由民主党神戸市議員団は、令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計53議案について、以下の理由により要望22件を付して承認します。また修正案と異なり可決をしたとしても法的効力も何ら有さない、「予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、反対します。

理由

令和6年度予算案は、東京一極集中や都市間競争がますます激化する中において、神戸空港の国際化に向けた取り組みや、都市の成長を促し好循環を創出するための施策、切れ目のない子育て支援の更なる充実など、市民の暮らしの質を高め、一人一人が幸せを実感できる温かみのあるまちづくりを進めようとする姿勢を評価します。また来年1月に阪神・淡路大震災から30年を迎えようとする中、国内外からいただいた支援への感謝を忘れることなく、これからも神戸が他の地域に貢献できる都市であり続けるとともに、活気と魅力あふれる持続可能な国際都市として、神戸の価値を高めていく取り組みも評価します。

一方で、物価高騰などに対応して、市民の所得を実質的に向上させる必要があり、神戸経済の活性化には、神戸に人を惹きつけるために投資的経費を確保し続けることが至上命題です。また都市の活力は人口に依る部分が大きく、定住人口はもとより交流人口・関係人口を増加させる取り組みを更に加速させ、市民が未来に希望を抱き、市外からの民間投資を呼び寄せるための施策と情報発信を一層強めていく必要があります。

少子高齢化に伴い増加し続ける義務的経費に対応し、安定的な財政基盤を構築するためにも「行財政改革方針2025」および、わが会派から提言した事項に全力で取り組むことを期待し、令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。

要望事項

1. 2030年の神戸空港の国際定期便の就航を質、量ともに成功させるため、2025年の国際チャーター便就航に向けて、遅滞なく神戸空港の整備を進め利便性を一層高めると共に、世界のエアラインに対して神戸と神戸空港の魅力を的確に発信すること。
2. 姉妹都市交流やMOU締結都市について、周年事業のみならず、中長期的な視点で都市ごとに目標をたて実益を生む意義のある関係を構築すること。
3. 費用に見合う効果がない区役所窓口業務の外部委託は、直営も視野に入れて見直

すこと。

4. 市役所1号館の展望ロビーについては、市民が憩える場所とするために飲食店などを誘致すること。
5. 王子公園の再整備に伴い、今年最後の営業となる王子プールなどについては、市民と利用者の記憶に残る行事を行うとともに、記録を残すこと。
6. こべっこランドにおいては、地元の事業者を中心としたキッチンカーなどの誘致を行い地域経済の活性化と来訪者の満足度を向上させること。
7. 兵庫区に病児保育を設置できるよう引き続き調整を図ること。
8. 境界知能への理解を深め寄り添った支援を行うため、未就学児の段階から必要な検査を行うこと。
9. 産後ケア事業については、誰もが等しく利用できるサービスであることを積極的に広報し、利用しやすい仕組みにすること。また利用者のニーズに一層応えられる事業とするために、施設が協力しやすい制度を構築し、施設を更に確保すること。
10. 港島クリーンセンターでの発電電力についても、自己託送の取り組みを積極的に進め、市民に見える形で財政負担を削減すること。
11. 夜間放置される事業系ごみや下水の臭気対策に配慮することで、高質な都市空間の維持ならびにナイトタイムエコノミーの充実に努めること。
12. 旧農業公園については、早期に整備計画を策定し然るべき予算措置をとること。
13. 須磨多聞線や神戸三田線は渋滞解消ならびに災害時の緊急輸送体制の確保をすべく、都市計画で定めた工事を早期に行うこと。
14. 須磨多聞線の西須磨工区においては、大型車両の通行は規制し、大型車両は天井川左岸線へ誘導すること。
15. 海上自衛隊阪神基地隊の用地売却時に、神戸市が自衛隊に課した火器・弾薬を集積しないという確認事項は速やかに廃止すること。
16. 新神戸駅隣接の「コトノハコ神戸」については、事業者任せにすることなく、周辺施設と連携し活性化に取り組むこと。
17. 周辺に悪影響を及ぼす空家・空地については、法改正に対応した早急な条例改正、新たな制度の活用を進め、より厳格で効果的な指導によってその解消に努めること。
18. 朝鮮学校に対する補助金は県の調査に依存することなく国の通知を鑑みて廃止すること。
19. 北朝鮮による日本国民の拉致問題は神戸市民も少なくとも2名が拉致されている事態を深刻に受け止め、速やかな全員の奪還を国に要請するとともに神戸市として拉致問題の啓発に注力すること。
20. 交通局は広告代理店との契約を抜本的に見直し、成果主義を取り入れて広告収入増を図るとともに不動産の利活用を行うこと。
21. 消防団を持続可能な体制とするため、若者や女性が参加しやすい環境づくりに努めるとともに、消防庁長官通知に拠り、若手神戸市職員の一定期間の入団を促進する取り組みを行うこと。
22. 児童生徒に寄り添った教育を一層推進するため、根本的な教育内容や授業の仕組

みの変更、いじめなど対応チームの創設など、固定概念に捉われず改革を進めること。

【日本維新の会】

日本維新の会神戸市議員団は、令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計53議案について、要望14件を付して承認いたします。また、予算第1号議案令和6年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議に関しては、反対いたします。

要望事項

1. 予算案に盛り込まれた高校生等通学定期券無償化に続き、子どもの学ぶ機会の保障の観点から給食費の無償化、教育バウチャー（塾代助成）制度の確立、学費についても兵庫県と連携の上、本市においても教育無償化を推進すること。
2. 神戸が子育てしやすい街として選ばれるためにも、近隣市と比較し優位性のある本市特有の施策については、効果的かつ戦略的な情報発信を行うこと。
3. 誰一人取り残さない「個別最適な学び」を推進するためにも、境界知能の研究と理解促進に併せて、通常学級において認知機能向上プログラムを試験的に導入していくこと。
4. 外郭団体における市OB職員の採用・報酬・在職の年齢上限は、団体に一任するのではなく、情報の透明化及び、市民に対する説明責任の観点からも本市が定期的な評価を実施し、情報公開を行うこと。
5. 庁内マニュアル等の神戸市の独自データを元に回答する生成AIを利活用する環境整備を進め、次期「行財政改革方針」にも反映させること。
6. WHO神戸センターへの年間1.4億円の運営費支援については、市民還元の観点から、初期の目的や今後の展望を再評価し、負担削減に向けた検討を進めること。
7. 神戸空港の国際化や国内線発着枠の拡大、大阪・関西万博の開催に向けて、神戸市と兵庫県の連携強化による観光施策を推進し、エアライン誘致に向けた機運醸成を図ること。
8. デジタル企画乗車券の開発やMaaSアプリの活用などで、関西MaaS協議会や民間事業者とも連携し、神戸の観光資源をシームレスに回遊できるMaaSの実現に取り組むこと。
9. 神戸空港については、2025年の国際チャーター便の運用開始・国内線の発着枠拡大による利用増にも確実に対応できるよう、立体駐車場の整備の検討を進めていくこと。
10. 市バスの値上げを行う交通局は、不採算路線の最適化、勤務体系の抜本的な見直し、DX活用や業務効率化による経費削減など組織改革・経営改善を進めつつ、広告収入の増加などの売上向上策も着実に実行すること。
11. 危機的な経営状況にある地下鉄海岸線については、他局とも連携強化の上、ノエ

ビアスタジアムや中央卸売市場、こべっこランドなど駅周辺の施設を最大限活用した施策を推進し、乗客増と地域活性化に繋げていくこと。

12. 医療的ケア児の増加に対応するため、受け入れ体制の強化として設備の整備を進めつつ、就労状況に関係なく利用できる「こども誰でも通園制度」を活用するなど、医療的ケア児を包括的にサポートする環境を整備すること。
13. 帯状疱疹ワクチン接種助成について、県に対して継続・拡充を要望の上、県市協調での実施を推進すること。
14. ひきこもり支援の相談件数の増加に伴い、入口支援だけでなく、出口支援にも焦点を当て、短期間労働や起業などの活動の場を提供するために、官民連携で取り組みを強化すること。

【公明党】

公明党神戸市会議員団は、令和6年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対して要望12件を付し、承認いたします。なお、「予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については反対いたします。

理由

令和6年度予算案には、公明党が訴えてきた定額減税をはじめとする物価高騰対策、こべっこウェルカム定期便の開始や高校生等の通学定期券補助の大幅な拡充、スクール・サポート・スタッフの全校配置など、子育てや教育環境の充実に向けた取り組みが盛り込まれています。また、高齢者や障がい者、孤独・孤立に直面している方々への支援策も拡充され、文化スポーツ施設やバスターミナルの整備、神戸空港国際化など都市の魅力を高める取り組みを進め、数多くの施策が反映されていることは評価いたします。

しかし、地域社会の希薄化、長引く物価高騰、気候変動による自然災害の増加など政策課題に直面しています。特に東京の一極集中をはじめ、少子・高齢化に伴い神戸市においても人口減少傾向が顕著になる中、神戸のまちの魅力と活力を更に高め、「選ばれるまち」、「住みやすいまち」を目指した当局の取り組みに期待し、以下個別の要望を付記して、予算案及び関連議案について賛成いたします。

要望事項

1. 行政組織の改編については行政の継続性、安定性の原則に則り、市民はもとより市外からもわかりやすい組織編成に留意すること。
2. 地域の共助に資する団体等のふれあいのまちづくり協議会への加入を認める方向で関係者と協議すること。
3. 街の賑わい創出のため、サンキタ広場をアーティストのパフォーマンス会場として活用できるよう、引き続き警察署をはじめとする関係者と積極的に協議を進めること。

4. オーバードーズ対策として SNS を活用した危険性の訴え、相談窓口の充実など、若者に直接つながる支援の取り組みを図ること。
5. 障害者相談支援センターにおいて多様な障がいの特性に応じた相談窓口業務のスキルアップを図ること。
6. 障がい児・者においてセルフプランから計画相談への移行強化に努めること。
7. 地域福祉ネットワークカーにおいて、年々増加する相談件数及び多様化・複雑化する生活・福祉課題に対応するためスキルアップを図るとともに人員増強にも努めること。
8. 小水力発電や太陽光発電などあらゆる方法を用いて、動力費を削減すること。
9. 高校生の通学定期券補助に関しては、市外に通学する高校生に対しても補助を拡充すること。
10. 教育の国際化の要請が強まるなか、東京都と同様、外国籍教員の教諭としての採用を検討すること。
11. 神戸市通学路交通安全プログラムの執行管理を徹底するとともに保護者、地域の交通安全ボランティアに取り組み状況の周知を行うこと。
12. 不登校対策の一環で行う授業のライブ配信について早急に全校で実施する体制を整えること。

[日本共産党]

令和6年度神戸市各会計予算案について、予算第1号議案神戸市一般会計予算、予算第4号議案令和6年度神戸市国民健康保険事業費予算、予算第9号議案令和6年度神戸市介護保険事業費予算、予算第11号議案令和6年度神戸市空港整備事業費予算、予算第15号議案令和6年度神戸市港湾事業会計予算、予算第16号議案令和6年度神戸市自動車事業会計予算及び予算第18号議案令和6年度神戸市水道事業会計予算について、必要な編成替えを行うことを求める動議を提出しており、この動議に賛成いたします。

予算第3号議案、予算第5号議案、予算第6号議案、予算第12号議案、及び予算第19号議案の5議案、並びに予算関連議案のうち第3号議案から第7号議案、第11号議案から第14号議案、第18号議案から第20号議案、第25号議案、第27号議案、第29号議案、第33号議案、第34号議案の17議案、合計22議案については賛成します。

予算第2号議案、予算第7号議案、予算第8号議案、予算第10号議案、予算第13号議案、予算第14号議案、予算第17号議案の7議案並びに予算関連議案のうち、第1号議案、第2号議案、第8号議案から第10号議案、第15号議案から第17号議案、第21号議案から第24号議案、第26号議案、第28号議案、第30号議案から第32号議案の17議案、合計24議案については反対いたします。

なお、予算組み替え動議が否決された場合は、予算第1号議案、予算第4号議案、予算第9号議案、予算第11号議案、予算第15号議案、予算第16号議案、予算第18

号議案については反対します。

理由

以下、反対の理由を申し上げます。

第一の理由は、郊外切り捨てで「人口減少」を加速させた都心・三宮偏重の大型開発に固執しているからです。久元市長は、大型開発について、「民間投資が誘発される」「リスクは民間企業の責任で」と答弁されました。しかし雲井通のバスターミナルビルは9割が国、県、市の補助金で賄われ、物価高騰分まで税金で肩代わりするなど丸抱えです。破綻が明瞭な大阪万博頼みの神戸空港への莫大な投資を強行、PPP導入拡大で、公共空間を民間企業のもうけの場に変質させるなど大型開発と大企業の利益確保に固執しているからです。その一方で郊外切り捨てのまちづくりが、地域の疲弊を深め、人口減少を加速させている事実を直視するべきです。

第二の理由は、「受益者負担」を理由に市民負担を押し付ける予算だからです。長引く物価高騰、実質賃金の低下、年金引き下げなど大変な市民の暮らしを顧みることなく、水道料金、市バス運賃の値上げで47億円の負担をはじめとして、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の引き上げ、国民健康保険料の独自減免の廃止など負担増を押し付ける予算だからです。さらに博物館・美術館の入場料の引上げで文化・教育にまで「受益者負担」を持ち込もうとしていることは看過できません。

第三の理由は、国の自民党政治に追随し、切実な市民の声を聴く姿勢が見られないからです。大学誘致ありきの王子公園再整備基本計画では、7万5000人の市民が見直しを求めて声を上げ、市立幼稚園の廃園問題では、2万2000筆を超える署名が寄せられています。にもかかわらず計画の見直しには背を向け続けているからです。またバス路線の充実を求める声を聴かず、大幅減便、縮小・廃止で市民の足を奪おうとしています。さらに学校給食・学費の無償化、子どもの医療費無料化など市民の願いにも応えていません。また地域経済の要である中小事業者への支援策が極端に弱いからです。

第四の理由は、市民の命と安全を脅かす職員削減を強行し、非正規、ボランティアへの置き換えを進めているからです。阪神淡路大震災や、能登半島地震で、市民の命と安全を守るため、職員体制の重要性が浮き彫りとなったにもかかわらず、財政効率化のために職員削減を強行しているからです。保育や教育、介護・福祉の現場では、過重労働と低賃金が慢性的な人員不足を生み、非正規や無資格者への置き換えが加速。市民や子ども達への影響が深刻になっています。建設局では市民からの相談への対応件数が半減、区役所では窓口の民間委託で混乱が続き、市民サービスの低下を招いているなど各方面で問題が顕在化しているにもかかわらず、久元市長は「何の問題も起きていない」とさらに推進しようとしていることは重大です。

第五の理由は、気候危機打開やジェンダー平等実現、食料自給率向上に対する取り組みが極めて弱いからです。他都市のごみまで受け入れて、燃焼効率や発電効率を維持するとの焼却中心主義や、化石燃料に頼り大量のCO2を排出する神鋼石炭火力発電の容認・推進、褐炭由来の水素エネルギーの利用促進では、カーボンニュートラルの

実現には遠く及びません。また食料自給率向上のため、農・漁業の振興に最優先で取り組むべきです。ライフパートナー制度の運用では、3年ごとの定期連絡で両者の関係の確認をとるとされていますが、異性婚ではありえない人権にかかわる問題であり看過できません。

以上、反対の理由を申し上げました。

また、日本共産党神戸市会議員団が提案した予算の編成替えを求める動議は、市長提案の予算から三宮再整備や、神戸空港の国際化などの大型開発等不要不急の施策を削減するとともに、財政調整基金を活用することで財源対策を行っています。その財源を活用することで水道料金、市バス運賃の値上げ中止、物価高騰で苦闘する中小事業者への支援、子どもの医療費や学校給食の無償化など市民の願いにこたえる提案となっていることを申し添えておきます。

[こうべ未来]

こうべ未来市会議員団は、令和6年度当初予算案並びに関連議案合計53議案について、要望12件を付して原案のとおり承認いたします。

また、「予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議は、原案を承認するため反対いたします。

理由

令和5年度は、市民生活がコロナ禍以前に戻る一方、円安の継続や物価の高騰により、市民生活にも様々な影響が出ました。そのような中、令和6年度当初予算案は、一般会計で前年度比263億円増の9,057億円、市税収入では3,133億円となり、賃金の上昇や企業業績の回復など明るい兆しもあります。

しかし、少子・超高齢化に伴う人口減少の傾向が顕著であり、神戸市としてその減少幅をできる限り抑制するとともに、人口減少時代にふさわしいまちづくりを進めていくことが重要です。加えて、地域社会の希薄化、長引く物価高騰など社会課題に対して、地域のつながりを実感する取り組みや市民生活の安定に資する取り組みなど、神戸市民が暮らしやすさを実感し、神戸のまちが元気になっていく施策を進めることが求められています。

令和6年度当初予算案は、これまで会派として求めてきた、ナイトタイムエコノミーの充実、また若者の地元定着を促進させることや、若年・子育て世帯の定着に向けた施策をさらに充実させていること、またSDGs推進体制の強化や新しい国際都市神戸を創る取り組み、さらに小中学校への校内サポートルームの整備と不登校支援員の配置、スクール・サポート・スタッフの全校配置など、人への投資となる予算を計上された点を評価いたします。

震災30年を迎える神戸のまちが、今後も市民の満足度が高いまち、次世代に引き継ぐ持続可能なまちとなることを期待し、令和6年度当初予算案並びに関連議案を承認いたします。

要望事項

1. 地域福祉センターの新たな役割を示す基本方針については、幅広い世代や団体の利用促進に努められたい。
2. 神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会については、万全の準備をもって安全に開催されたい。また、大会を応援する飲食店等を募り、経済波及効果が期待できる仕組みを構築されたい。
3. 垂水区における、産科・小児科救急を含む急性期医療を担う中核的医療機関については、早期の開設に向けて、優先交渉権者の指導に努められたい。
4. 神戸ルミナリエについては、今回の課題を踏まえ、三宮近隣の飲食店等へ経済効果が波及する仕組みを改善されたい。
5. 六甲アイランド公園、シティヒルやリバーモールの再整備を通じ、島外から人が訪れるよう、さらなる活性化に取り組まれたい。
6. 今後公園設備の改修の際には、インクルーシブ公園を増やされたい。
7. 高経年マンションの安全対策において、外観調査・対策などを強化されたい。
8. 世界から選ばれる港であり続けるため、カーボンニュートラルポート形成に向けた取り組みを推進されたい。
9. 救急車の適正利用のため「#7119」「おくる電」のさらなる普及促進に努められたい。
10. 市バスの運賃改定を実施するにあたり、収支改善の観点だけでなく、バス待ち環境改善など、さらなるサービスの拡充に努められたい。
11. 教職員の職場環境の改善については、民間企業や外部コンサルタント等の視点も入れ、早急に改善されたい。
12. 農村地域の小規模校については、特色ある学校づくりとともに、移住促進施策と連動した神戸市広報戦略による魅力発信に努められたい。

【つなぐ】

つなぐ神戸市会議員団は、令和6年度神戸市各会計予算のうち、予算第1号議案、予算第4号議案、予算第11号議案、予算第14号議案、以上予算4議案に下記の理由から反対します。

また、「予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、評価できるものも多いが、いくつかの項目で考え方などに違いがあるため反対します。また、その他の議案については賛成いたします。

理由

反対する主な理由は次の通りです。

1. 王子公園再整備については「大学誘致ありき」で市民とのボタンの掛け違いが是正されないまま、市民の貴重な共有財産の一部を民間へ売り渡し、建設局に王子公

- 園再整備本部を設置し、令和6年度中の工事着工が予定されているため。
2. 神戸空港国際化にともなう空港整備に市税が投入されているため。
 3. 国民健康保険事業において、一般会計からの法定外繰り入れを全く行わず、社会保険との格差を是正して払いやすい保険料にしていなかったため。
 4. ポートアイランド・リボーンプロジェクトをはじめ開発団地の将来のリニューアルなどの財源の確保のため、空港島・産業団地の未処分地などの資産の活用が必要で、令和6年度末での新都市整備事業会計の廃止に反対のため。

[平野（章）委員]

令和6年度 神戸市各会計予算案並びに関連議案合計 53 議案については、承認します。

また、「予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については反対します。

[松本（し）委員]

令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案合計 53 議案については、要望5件を付して以下の理由により承認いたします。

又、「予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議の件につきましては、原案を承認するため反対をします。

理由

令和6年度予算は、人口減少・少子超高齢化社会での社会保障関係費の増大をはじめ神戸市財政状況は一層厳しく今後も予断を許さない状況となっております。今後ともグローバルな都市間競争に対応できる都市として、本市の「6つの柱」に沿った施策に期待し、予算については認定し関連議案については承認します。

要望事項

1. 港勢拡大のため阪神国際コンテナ戦略港湾施策の推進と神戸港湾の関連団体や企業との課題解決に努め、スピード・コストの観点から、競争力強化に一層取り組まれない。
2. 「神戸港将来構想」において、須磨海岸エリアは滞在型リゾートエリアと位置づけており、海洋スポーツエリアとしての視野も含め、須磨海岸西エリアの「須磨海づり公園」と JR 須磨駅へのアクセス改善による回遊性向上を図り活性化に取り組まれない。
3. スポーツ都市神戸として青少年育成施策となる青少年へのスポーツ振興や競技力向上のため一層努力されたい。
4. 都市型漁業を支援し、栄養豊富な海とし、漁業振興を推進し地産地消による地

域振興施策に一層努力されたい。

5. 「神戸須磨シーワールド」をはじめ、神戸西海岸エリアの観光に於ける経済波及効果に大いに期待する一方で、近隣道路で予想される渋滞対策には、関係機関と共に課題解決になるようスピーディーに取り組まれない。

【上原委員】

令和6年度神戸市各会計予算及び関連議案のうち、第31号議案、第32号議案について後述する理由から反対します。

また、「予算第1号議案 令和6年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、反対します。その他の議案については高校生等通学定期券無償化をはじめとして市民に喜ばれる思い切った施策を評価する事から賛成いたします。

理由

反対する主な理由は次の通りです。

1. 水道料金の値上げについては、物価高騰が続く中、年金生活をはじめ収入が上がらない方々も含め、全ての市民の生活や健康に関わることであります。給水収益減少の主な原因が人口減少であるなら、少子化や人口流出超過が続くと予測される中、今後もさらなる値上げをしなければならなくなること。
2. 市バス運賃値上げについては、新型コロナウイルスを機に定着したりモータワークをはじめ、高齢化や人口減少の影響による減収を補うための市民負担増であります。普通区の値上げだけではなく、距離料金制であり現状でさえ高額な運賃の64系統においても、大人料金が全ての区間で20円値上げをされること。
3. 水道事業・市バス事業をはじめ、各局には経費削減ができる余地が多くあります。値上げより前に可能な限りの経営努力をすべきと考えること。
4. 現在、実質賃金がバブル期以降最低水準となっており、賃金上昇が物価上昇に追いついていない中、さらに生活に最も密着した物価である水道料金や、消費活動に影響する交通費を値上げすることは、行政として実質賃金を下げようとする行為とも言え、経済的感覚を疑うほどタイミングが悪い政策判断であること。

【つじ委員】

令和6年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項3件を付して承認致します。また、予算第1号議案令和6年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議については、反対します。

理由

令和6年度神戸市各会計予算案は、来年で発生から30年となる阪神・淡路大震災の関連事業に重点を置き取り組む一方で、人口の減少傾向が続く中、子育て支援の充

実に向けた施策や、本市の持続的な発展に資する積極的な投資が盛り込まれた意欲的な予算案であると評価致します。

以上の理由から、令和6年度神戸市各会計予算案及び関連議案を承認致します。

要望事項

1. 能登半島地震の被災地において、断水により劣悪なトイレ環境に陥ったことから、本市でもトイレトレーラーの導入を検討し、連携・支援の輪を広げるとともに、地域のイベント等で普段からトイレトレーラーを活用し、携帯トイレの備蓄喚起等、市民の防災意識の啓発に努められたい。
2. トレーラーハウス型の喫煙所は、設置にあたり費用が少額で済み、煩雑な申請が不要で、敷地を有効活用できるというメリットがあり、また、常設型の設置に向けてニーズの把握もできるため、ぜひ導入されたい。そして、来年度から創設される予定の喫煙所整備の補助制度について、トレーラーハウス型の喫煙所も対象とすることで、喫煙所の整備を進められたい。
3. 生活に困窮する若者に対する支援について、更生センターの活用を男性のみではなく、女性も対象にされたい。また、民間の支援団体などと連携し、市内空き家をシェアハウスとして提供するなど、既存資源の活用により、女性向けに同様の伴走型支援の取組みを促進されたい。

[村上委員]

令和6年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項3件を付して承認いたします。また原案を承認することから、予算第1号議案等の編成替えを求める動議については反対いたします。

理由

令和6年度神戸市各会計予算案は、未来志向的な視点と現実的な課題への対応をバランス良く融合させた予算案であり、SDGsの視点に基づいた施策展開や、果敢な投資による成長戦略は、持続可能で魅力ある都市を目指す神戸市の強い決意を示すものとして高く評価いたします。

以上の理由から、令和6年度神戸市各会計予算案及び関連議案を承認致します。

要望事項

1. 神戸空港の国際化を見据えて重要なフィールドである太平洋諸島諸国との関係強化に取り組まれたい。
2. 交通局の経営については、将来世代に受け継ぐべき資産の切り売りに頼ることなく、交通事業収入以外で稼ぐ仕組みづくりへ積極的に取り組まれたい。
3. 公共施設への太陽光パネルの設置検討については、神戸港の国際競争力に直結することから、公共上屋等港湾地区での検討を優先的に取り組まれたい。